

7. 質問 4 で 3 「受け入れ不可能である」と回答された方にかがいます。

その理由をご回答下さい。(複数回答可)

1. HIV 陽性者の受け入れ経験がないため
2. 感染予防対策(針刺し事故時の対応も含む)に関して不安があるため
3. HIV/AIDS という疾患がよく分からないため
4. 薬物療法(治療)がよく分からないため
5. 疾患に関する知識を得ても、職員の不安は残るため
6. 性感染症を対象とすることに職員の抵抗感がある
7. 感染対策にかかる経費の問題があるため
8. 訪問依頼をした医療機関がきちんと連携してくれるか不安があるため
9. プライバシーの配慮に関することが不安であるため
10. 他の利用者の評判が不安である
11. その他()

8. HIV 感染症に関する研修会へ参加されたことはありますか?(事業所内のどなたか 1 名でも可)

1. いいえ
2. はい ⇒参加された研修会は次のどれにあたりますか
 当研究班主催の研修会
 ACC・エイズブロック拠点・中核拠点病院主催の研修会
 都道府県看護協会主催の研修会
 都道府県のエイズ担当部署、保健所主催の研修会
 その他()
3. 不明

9. 質問 8 で 2 「はい」と回答された方にかがいます。

研修会に参加されて良かった点をお教え下さい。(複数回答可)

1. HIV 感染症に関する理解が深まった
2. HIV 陽性者の受け入れに向けた準備となった
3. HIV 陽性者の受け入れにつながった
4. 研修受講者が事業所内で伝達講習をし、スタッフ全体の学習となった
5. その他()

11. 今後、HIV 感染症に関する研修会、学習の機会があれば参加をしたいと思われますか?

1. はい
2. いいえ
3. どちらともいえない

12. I-net をご存知ですか?

1. 知っているが登録してない
2. 登録している
2. いいえ

ご協力、ありがとうございました

※なお、本結果を個人や所属等の情報が特定されないようにした上で、主催研究班報告書及び専門誌、学会等で公表する可能性がありますことをご了承ください。

23

携帯を使った服薬支援“だ・メール”および検査予約システムの開発

研究代表者：白阪 琢磨（国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：幸田 進（有限会社 ビッツシステム）

研究要旨

「HIV 感染症及びその合併症の課題を克服する研究」（以降、「前研究」とする）にて試験運用してきた携帯電話またはスマートフォン（以降、「携帯電話」とする）の電子メールと WEB 機能を利用した「服薬時間お知らせ」を自動的に通知する通信システム（以降、「だ・メール」または「服薬支援ツール」とする）を継続して特定の医療機関に通院する患者及びその他の患者（特定の医療機関に通院していない患者）に提供し、患者の利用状況データから、携帯電話を利用した服薬支援ツールが院外の患者に対する服薬支援の効果がある事を確認する。

また、前研究にて携帯電話の個体識別機能と WEB 機能を利用して個人情報を入力する事なく HIV 検査予約が行える予約システム（以降、「検査予約システム」とする）を特定の HIV 検査機関にて運用し、検査予約システムを導入する事によって HIV 検査機関に効率よく検査希望者を誘導する事が可能であるかを検証する。

研究目的

- (1) 服薬支援ツール 前研究同様、現在運用中の服薬支援ツールを使用する事で院外の患者が継続的に服薬できているかを長期的な利用状況データを収集する事で検証する。また、本研究終了後の服薬支援ツールの運用方法について検討し結論を出す。
- (2) 検査予約システム 携帯を用いた HIV 検査予約システムを HIV 検査機関に導入する事によって、HIV 検査を受ける受検者数を増加させる効果があるかを検証する。また、運用によって発生する不具合の修正および機能改良および機能追加を実施する。

また、開発した検査予約システムと連動して動作する HIV 検査受付システム（検査受付の場で稼働するクライアントシステム。以降、「検査受付システム」とする）を構築して、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター（以降、「大阪医療センター」とする）にて検査予約システムと連動して運用し機能評価する。

今研究では東京都南新宿検査・相談室（以降、「南新宿検査室」とする）を基本モデルケースとし、受検希望者の誘導の流れとして東京都福祉保健局ホームページ、「HIV 検査・相談マップ」（厚生労働省科学研究費エイズ対策研究事業「HIV 検査相談体制の充実と活用に関する研究」）、「東京都 HIV 検査情報 WEB」サイトからを想定した。

研究方法

- (1) 服薬支援ツール 前研究にて開発し改良してきた服薬支援ツールを継続して特定の患者を対象に運用し、患者毎の服薬時間お知らせメールの配信回数、および、お知らせメールに対する服薬応答回数データを蓄積・解析し評価する。
- (2) 検査予約システム 前研究で開発した、携帯を用いた HIV 検査予約システムを特定の検査機関にて運用し、HIV 検査機関での検査予約状況データおよび検査実施状況データおよびアンケート集計結果データから、HIV 検査機関での検査予約システムによる検査誘導効果を検証する。

平成 26 年度は第 2 第 4 日曜日のみ検査を行っている栄サンサンサイト検査・相談室（以降、「栄サンサンサイト」とする）を運用モデルケースとして追加した。

なお、検査予約システムから直接収集する利用状況データの他に、参考データとして南新宿検査室が集計している利用状況データおよびアンケートデータをご提供頂いた。また、南新宿検査室ホームページのアクセス履歴を一部参考にさせて頂いた。

(倫理面への配慮)

服薬支援ツールおよび検査予約システムの提供にあたっては、収集するデータの取り扱いに注意するとともに、利用者に対して携帯画面の文書で説明し同意を得た上で実施する事とする。

研究結果

(1) 服薬支援ツール 運用を開始してから 9 年が経過した現在でも一定の利用は確認できる。が、特定の病院に所属しない利用者の若干の伸びはあるものの殆ど増加は確認できない状況であった。

ただし利用を継続している患者では「服薬時間お知らせ」メールに対しての服薬返答率は長期利用者であっても“図 1 利用期間と応答率”に示すように長期にわたって応答操作している事が確認できた。

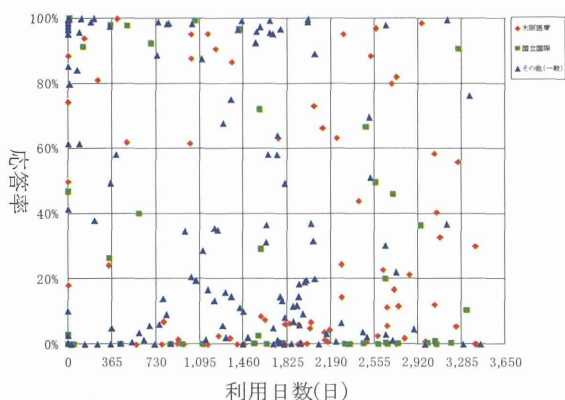


図 1 利用期間と応答率

服薬支援ツールの平成 26 年 12 月末日時点での登録者数は“表 1 利用登録者数”の通りであり、昨年同様、若干の利用者増が確認できる程度であった。

表 1 利用登録者数

大阪医療センター	83 人 (80, 82, 75, 68, 60, 44)
国立国際医療センター	39 人 (38, 38, 29, 31, 23, 23)
その他	124 人 (110, 108, 97, 90, 62, 23)

※カッコ内は H25, 24, 23, 22, 21, 20 年の登録者数

長期的な利用は確認できるものの利用者数の自然増加が見込めない事から今後のシステムの運用方法について検討した結果、利用者の大幅な増加がない事を前提として、服薬支援ツールの移行が可能な法人向けレンタルサーバにシステムを動作し、当面の運用を継続する方向とした。

(2) 検査予約システム 南新宿検査室では検査予約システムによる 1 日の予約受け入れ人数を 21 人にて運用し、予約状況データを蓄積して集計した結果、直近の 12 ヶ月間(H25. 11/1~H26. 10/31)の検査予約システムからの予約人数は 6,963 人(電話予約人数: 6,563 人)で、1 日あたりの平均予約人数は 20.2 人(同、19.1 人)という結果であった。

予約受け入れ人数を 21 人で運用開始した前々年の同一期間(H23. 11/1~H24. 10/31)の検査予約システムからの予約人数は 5,301 人(電話予約人数: 7,173 人)で、1 日あたりの平均予約人数は 15.3 人(電話予約人数: 20.7 人)であり、比較すると電話による平均予約人数が若干減少しているものの検査予約システムからの平均予約人数が大幅に増加している事が確認でき、また、全体の検査予約人数の増加も確認できた。

予約状況の推移としては“図 2 南新宿検査室における予約人数推移(1)”に示すように検査予約システムの導入以降、全体の検査件数の回復の傾向が観察された。

電話による検査予約数と検査予約システムからの検査予約数の比率については“図 3 南新宿検査室における予約人数推移(2)”に示すように平成 22 年 6 月の運用開始後しばらくは検査予約システムからの予約数は電話予約数を下回る状態だったが、直近では検査予約システムからの予約数が電話予約数を上回るまでに伸びており、南新宿検査室においては電話と検査予約システムの併用による検査予約サービスが効率よく稼働している事が確認できた。

ただし“表 2 南新宿検査室における検査実施人数増減”に示すように、検査予約システムを導入したことで検査予約者数の増加に対して検査実施者数の増加ポイントが低く、検査予約をするが検査に来ない利用が検査予約システム導入前

より多く発生している事が観察されている。

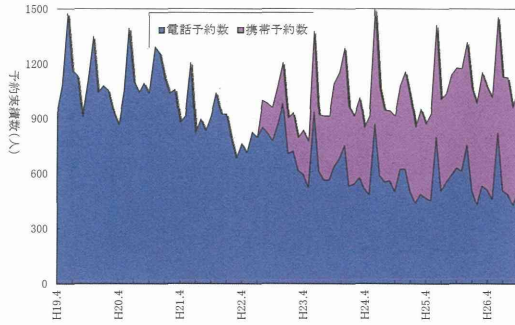


図2 南新宿検査室における予約人数推移(1)

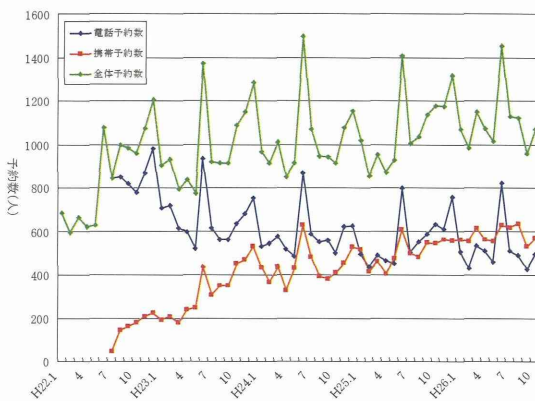


図3 南新宿検査室における予約人数推移(2)

表2 南新宿検査室における検査実施人数増減

	検査実績数	21年比
平成21年	2,280人 (2,661人)	—
平成22年	2,464人 (2,945人)	8.0%増 (10.7%増)
平成23年	2,291人 (2,921人)	0.4%増 (9.8%増)
平成24年	2,236人 (2,984人)	0.01%減 (12.1%増)
平成25年	2,674人 (3,353人)	17.3%増 (26.0%増)
平成26年	2,444人 (3,154人)	7.2%増 (18.5%増)

※ 8月1日～10月31日データで集計

※ カッコ内は予約者数

週単位の予約状況については、南新宿検査室にて1日の予約受け入れ人数を21人にて運用を開始してから暫くは「図4 H24年の曜日別予約率」に示すように土日曜日の予約率が高いものの平

日についての予約状況はそれほど高くはない状況であったが、直近1年間の予約状況を曜日別にみると「図5 H26年の曜日別予約率」に示すように何れの曜日でも非常に高い予約率を確認できるまでに至った。栄サンサンサイトでは月2回(第2、4日曜)の検査実施であるが、運用開始直後から非常に高い予約率を維持している事が確認された。

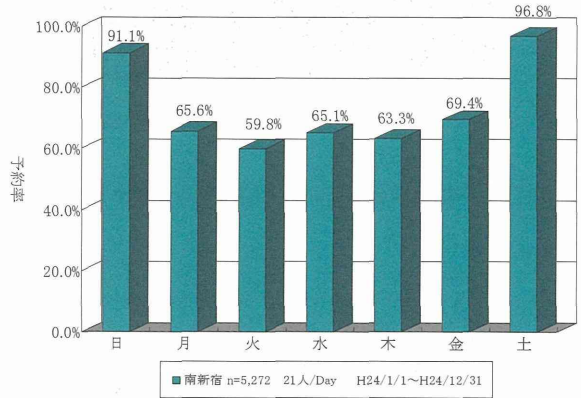


図4 H24年の曜日別予約率

(南新宿検査室のみ)

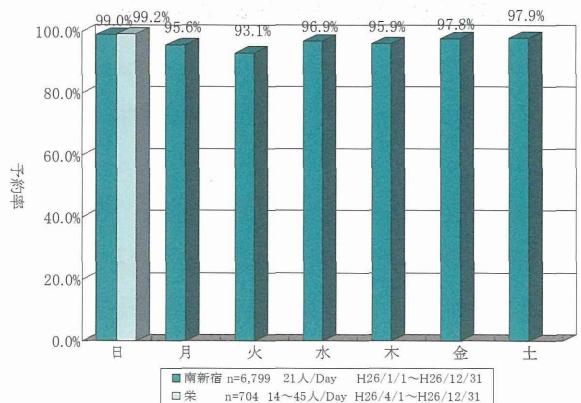


図5 H26年の曜日別予約率

利用者が検査予約を行っている曜日や時間帯について、南新宿検査室については「図6 南新宿検査室における曜日別予約操作数」に示すように、月曜日に検査予約システムを利用する比率が高く、次いで火曜日水曜日と週末に向かって利用率が下がって行く傾向にある事が観察された。

栄サンサンサイトについては「図7 栄サンサンサイトにおける曜日別予約操作数」に示すよう

に週の前半の利用が多く後半は若干低い傾向が
みられた。

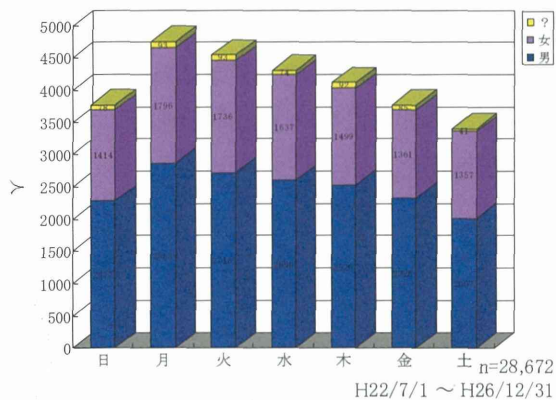


図 6 南新宿検査室における曜日別予約操作数

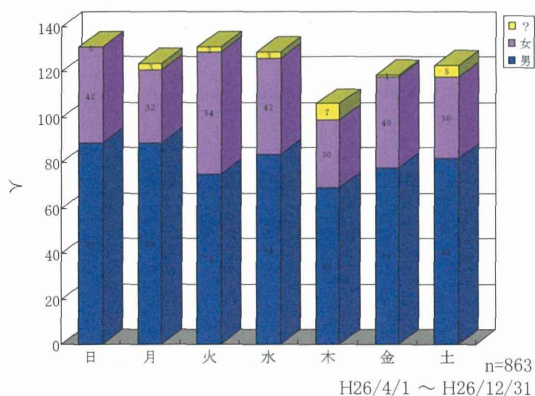


図 7 栄サンサンサイトにおける曜日別予約操作数

利用の多い時間帯については“図 8 南新宿検査室における時間帯別予約操作数”および“図 9 栄サンサンサイトにおける時間帯別予約操作数”に示すように何れの検査機関とも深夜にかけて増加する傾向がある事が観察された。

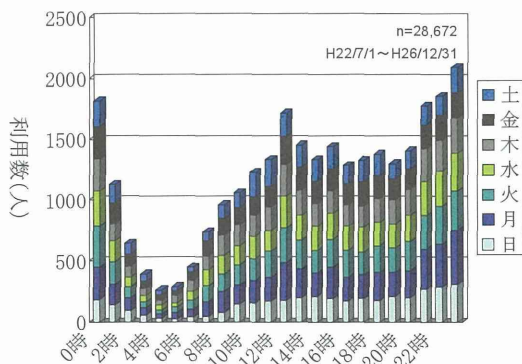


図 8 南新宿検査室における時間帯別予約操作数

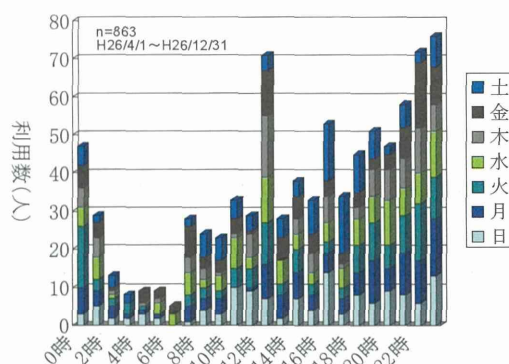


図 9 栄サンサンサイトにおける時間帯別予約操作数

検査予約システム導入前後での検査予約をする年齢層および性別については、“図 10 南新宿検査室におけるシステム導入前後の利用者層の変動”に示すように、電話予約については女性の比率が若干減少したものの全体的には導入前とあまり差異が感じられない構成であったが、検査予約システムによる予約については 20 歳代の女性の利用が多い傾向が観察された。逆に 40 歳代以上の年齢層については利用が少ない傾向が観察された。“図 11 栄サンサンサイトにおける利用者層”に示すように、栄サンサンサイトでの運用でも同様に 20 歳代の女性の利用が多い傾向が観察された。

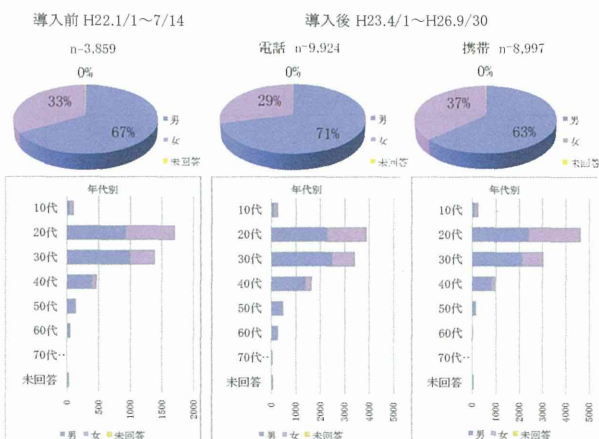
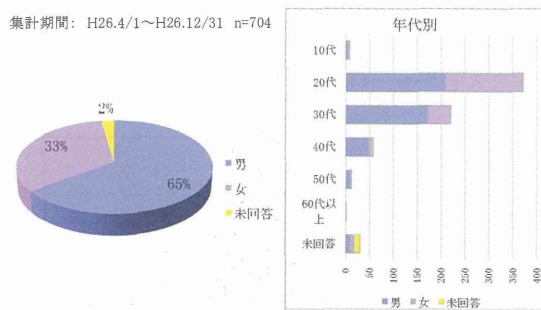


図 10 南新宿検査室におけるシステム導入前後の利用者層の変動

“図 15 検査受付システム概要” に示す HIV 検査受付システムと連携するために実装した。



グラフ 11 栄サンサンサイトにおける利用者層

受検者の誘導元として想定している“HIV 検査・相談マップ”サイトからの利用について追跡した結果、“図 12 HIV 検査・相談マップからの誘導状況”に示すように HIV 検査・相談マップサイトから南新宿検査室ホームページまで訪問する利用者数は順調に増加しているが、検査予約まで到達する人数が減少の傾向にある事が観察された。

減少の原因について調査した結果、スマートフォンからの利用の増加に伴い QR コードを利用せずに直接南新宿検査室ホームページに移動しているためである事が判明した。実際には減少していない事が判明した。

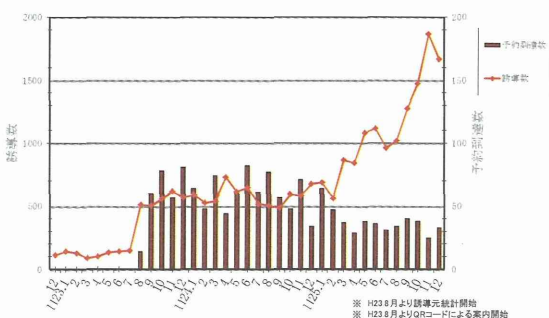


図 12 HIV 検査・相談マップからの誘導状況

プログラムの機能追加として、前研究で開発した検査予約システムに対して今年度の運用システムでは、オプション機能として年齢入力オプション(“図 13 年齢入力オプション”)、QR コード表示オプション(“図 14 QR コード表示オプション”)を実装した。QR コード表示オプションは、

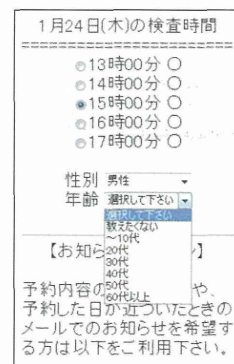


図 13 年齢入力オプション



図 14 QR コード表示オプション

また、アンケートシステムの仕様の検討を行いプロトタイプシステムを作成したが、検査機関で実施しているアンケートとの二重アンケートになってしまい検査希望者の負担になる事から実装は見送った。

今研究では大阪医療センターでの利用を想定した HIV 検査受付システムを構築した。検査受付システムは Windows 上で動作する HIV 検査予約システムのクライアントソフトウェアに位置付けられるソフトウェアで、検査予約システムにて HIV 検査予約をおこなった受検者の携帯電話の画面に表示される QR コードを読み込み、予約番号情報を基に受付票と採血管用のバーコード (NW7) 付きラベルシールを出力する機能を提供している。

今研究では検査受付システムの構築および大阪医療センターへの試験提供までとし、評価および改良については見送った。



図 15 検査受付システム概要

運用管理については、検査予約システムの開発も 4 年になり安定した運用が継続できるに至っているが、サーバコンピュータを狙った攻撃や検査予約システムが使用している各種管理ツールに対するログイン突破を試みる不正アクセスなどが断続的に発生しており、監視ツールによる監視および人の目による監視強化が必要な状況であった。

平成 26 年 10 月 20 日 23:00-24:00 テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル(タイトル:「中年を襲う「いきなりエイズ」 忘れるな! エイズ最前線)」が放送され、番組内で南新宿検査室が HIV 検査機関として紹介(23:14 前後に紹介)される機会があり“図 16 TV 放送による利用状況の変動”および“図 17 TV 放送前後の予約状況変動”のような利用データを収集する事ができた。TV 番組内で南新宿検査室が紹介された事で番組放送中から南新宿検査室ホームページの急激なアクセス数の増加および検査予約システムへの検査予約が観察された。また、若干ではあるが放送終了翌日以降も南新宿検査室ホームページへのアクセスおよび検査予約システムへの検査予約数が高い状況が続いている事も観察できた。

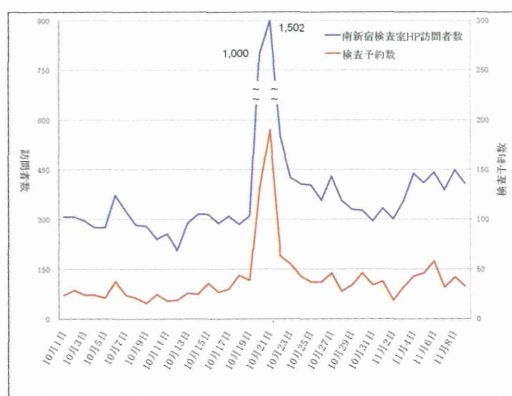


図 16 TV 放送による利用状況の変動

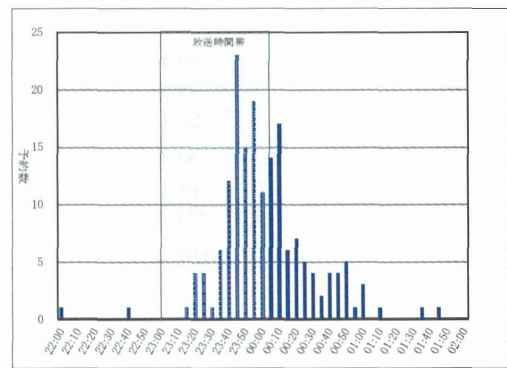


図 17 TV 放送前後の予約状況変動

考察

(1) 服薬支援ツールについては、登録済の利用者は長期的に利用を継続している事が観察されたが、相変わらず新規の利用者は少ない状況にある。

運用停止も含め今後の運用方針を検討した結果、継続利用が確認されている事から当面は服薬支援ツールを運用経費を抑えたサーバコンピュータに移行して運用を継続する方向としたが、これとは別に多機能スマートホンの機能を活用したスマホアプリとして再設計する事も検討すべき時期にあると思われる。

(2) HIV 検査予約システムについては、今や殆どの人が所有している携帯電話からの利用を前提としたシステム構築を目指した事で、時代に合ったシステムが構築できた事も相まって着実に利用実績数を伸ばしており、携帯電話とインターネットを使った検査予約サービスの実用性を確認するに至っている。今研究全体を通して検査予約システムでの予約操作を行う時間帯が夕方から深夜にかけて増加する傾向が確認されており、電話窓口が閉じている時間帯をカバーできている事が検査予約数の増加につながっていると推測できる。

また、運用モデルケースとしている南新宿検査室が AIDS を題材にした TV 番組内で HIV 検査機関として紹介される機会があり TV 番組放送中および放送後の利用状況データを得る事ができたが、収集したデータ上からは番組内で南新宿検査室が紹介されてすぐに南新宿検査室ホームページへのアクセスおよび検査予約システムからの検査予約が行われる状況が観察されている事から

も、常時予約可能な媒体を提供しておく必要性があると考えられる。

結論

- (1) 服薬支援ツールについては、約9年の実証試験において長期的に服薬応答している患者の存在から“飲み忘れ”防止の支援効果は確認できるが医療機関からの利用促進などを行わない限り利用者の増加は見込めないものと思われる。今後は利用者数の大幅増加がない事を条件とし、運用経費を抑えたレンタルサーバでの運用に移行し、運用を継続する事とした。
- (2) HIV 検査予約システムについては、南新宿検査室では検査予約システムからの検査予約数が電話予約数を上回るまでに増加し、全体の検査人数も順調に増加している事が確認されており、着実に効果を上げている状況である。また、栄サンサンサイトでは運用開始直後からほぼ100%近い予約実績を継続している事から、検査予約システムを導入する事によって短期間で効果を得られるサービスを提供する事も可能であると考えられる。

検査機関にて検査予約システムを導入し HIV 検査の案内ホームページを作成(または既設の場合は予約サービスの案内の追加)する事で、電話対応のための人員を準備できない検査機関での予約サービス実現や、検査実施数の下降傾向にあった検査機関での検査実施件数の回復も見込めるものと思われる。

健康危険情報

該当なし

知的財産権の出願・取得状況

該当なし

研究発表

該当なし

24

Webサイトを活用した情報発信と情報収集、閲覧動向に関する研究

研究代表者：白阪 琢磨（国立大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター）

研究協力者：湯川 真朗（有限会社キートン）

研究要旨

haart-support.jp は、「多剤併用療法服薬の精神的、身体的負担軽減のための研究」班で2004年に開設して以来、継続して運用している。内容は当班研究者の研究成果や研究概要である。掲載している情報の種類としては、患者さんを対象とした情報と、医療関係者に向けた情報に大別できる。患者さんに向けた情報としては「感染初期の診療」、「HIV ってどんな病気?」、「早分かり! 症状から探す重大な副作用」、「おくすりガイド」 「忘れちゃだメール」 「HIV 陽性者の歯科診療の課題と対策」などを公開している。また医療関係者向けには「抗 HIV 治療ガイドライン」、「推奨処方エビデンスとなる臨床試験」、「研修会のお知らせ」 「HIV 診療における外来チーム医療マニュアル」、「HIV 感染症とメンタルヘルス」、「資料・冊子のダウンロード」などを公開している。

ホームページの表示は文字を大きめに設定し、文字背景とのコントラスト（明暗差）を大きくするなど、可読性を高めている。また図やイラストには必ず代替テキストを設定するとともに、視覚障害者が利用するスクリーンリーダーや音声ブラウザなどにも対応し、万人に対して情報を過不足なく発信できるようユニバーサルデザイン化している。これによって、Google や Bing、Yahoo などの検索では常に上位にランキングされている。

haart-support.jp では、Web サイトへのアクセス解析ツールとして Google アナリティクスを導入している。2007年2月15日から解析を始め、2014年12月31日までのユーザー数の累計は310,152、ページビュー数は1,221,132となっている。

サイト内には2つのタイプのアンケートを設置している。1つは haart-support.jp 全体に関するアンケートで、もう一つは個別のページから、その内容が役に立ったかどうかを即時送信できるというものである。Web サイト全体に関するアンケートは2014年12月31日までに96件の回答があった。また個別ページから送信するページアンケートは452件の回答があった。

研究目的

治療薬剤の種類が増え、AIDSが慢性疾患となった今、HIV診療は特定の病院で行う疾患から、一般の病院で治療する疾患となりつつある。このため、患者・感染者はもとより医療関係者も、正しい知識や最新の治療動向を把握する重要性がますます高くなっている。

一方、医療関係者の中には未だに正しい知識を持ち得ない人もおり、特に地方では多いと思われる。そのため居住地に関係なく知りたい情報にアクセスできるホームページは有効である。

そこで当サイトでは、患者・感染者や医療従事者に最新の情報をいち早く発信するとともに、その閲覧動向を調査・分析し、HIV感染症およびその合併症の課題を克服するために、今後の情報発信へと活か

していくものとする。

研究方法

(1) Webサイトの制作手法

ホームページ開設当初はXHTML+CSS（文書構造はHTML、見栄えはCSS）でコーディングし、構文として最も厳密なStrictで作成していたが、HTML5が主流となりつつある今、新規ページ作成時はHTML5を取り入れつつある。

(2) 最新情報の発信

研究班、研究者の研究成果を公開するとともに、新薬の情報や添付文書の改訂などにいち早く対応する。

(3) アクセスログの解析

アクセス解析ツールとして標準的なGoogleアナ

リティクスを、2007年2月15日に導入。各ページにアクセス解析のためのトラッキングコードを埋め込み、訪問者数やページビュー数、どのようなキーワードで検索されてきたかなどを解析できるようにしている。

(4) 個別ページから送信するページアンケート

各ページ下部には「このページは役に立ちましたか？」との設問に、下記の評価をクリック操作で選択、送信できるシステムを設置している。

図1 ページアンケート

これにより、閲覧者はコンテンツを閲覧した直後にその評価を送信できる。どのページから送信したのかも把握できるため、ページ個別に評価を分析できる。

(5) Webサイト全体に関するアンケート

サイト全体に関するアンケート投稿ページを設置している。設問内容は以下のとおり。

1. このホームページをどこでお知りになりましたか？

【選択項目】 検索エンジン／他のホームページからのリンク／友人・知人に教えてもらった／その他

2. お薬情報コーナーで役に立った内容はどれですか？

【選択項目】 薬カード／Q&A／患者向説明文書（翻訳）／添付文書

3. このホームページに追加してほしい情報があれば、ご記入ください。

4. このホームページに関するご意見、ご要望があればご記入ください。

5. 抗HIV薬の服薬を支援する方法を検討するため、定期的にアンケート調査を実施したいと考えています。アンケート調査のお知らせをご連絡してもいい場合は、メールアドレスをご記入ください。

6. 年齢

【選択項目】 10代／20代／30代／40代／50代／60代以上

7. 性別

【選択項目】 男性／女性

8. あなたの立場についてお教えてください。

【選択項目】 患者／患者の家族・友人等／医療関係者／その他

研究結果

(1) アクセスログの解析

アクセスログの解析を始めた2007年2月15日から2014年12月31日までの集計は以下のとおりである。

① ユーザー数

ユーザー数とは、当サイトに訪れたユーザーの数で、何ページ閲覧したかはカウントしない。(表1)

表1 年間ユーザー数

年月	ユーザー数
2007年	12886
2008年	26263
2009年	30745
2010年	38512
2011年	45173
2012年	52590
2013年	64056
2014年	83186

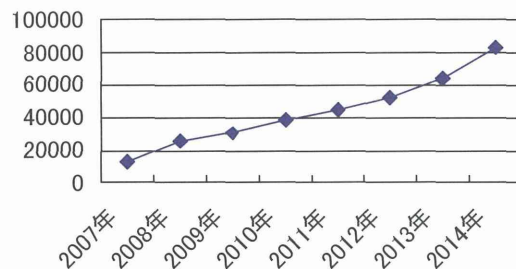


図2 ユーザー数の推移

② ページビュー数

ページビュー (PB) 数は、訪問者が閲覧したページをすべて集計したものである。(表2)

表2 1ヶ月ごとのページビュー数

年月	PB数
2007年	59630
2008年	122724
2009年	143316
2010年	166592
2011年	167171
2012年	171872
2013年	180163
2014年	209664

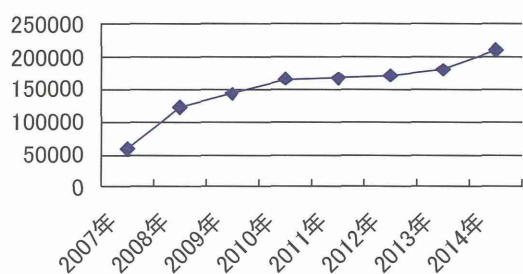


図3 ページビューの推移

(3) ページアンケートの集計

個別のページからその内容を評価できるページアンケートでは、2006年11月から2014年12月31日までのアンケート送信数は301件であった。

表3 ページアンケートの集計結果

評価	件数	%
役に立った	395	87%
一部、役に立った	36	8%
役に立たなかった	21	5%
回答数	452	100%

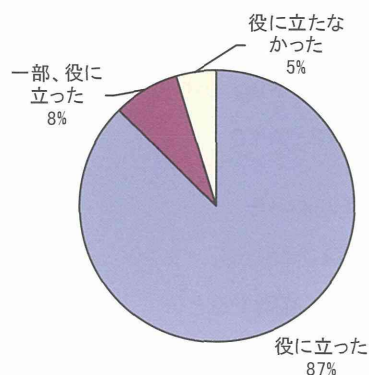


図4 ページアンケートの集計

このページアンケートで寄せられた意見は次のとおりである。

【評価】役に立った

【メッセージ】本ガイドラインを読む限り、HIV治療の厳しさが依然としてあり、今後の更なる研究が期待される。それに併せ、早急なる感染拡大の予防処置としての法整備、環境整備の必要性がある。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】大凡の知識を得る事が出来ました。4種類有る事。どれも完全にウイルスを死滅させる物では無いこと。飲み続ける必要が有る事。その三つの知識を得る事が出来ました。

【送信ページ】抗HIV薬について

【評価】役に立たなかった

【メッセージ】フリーダイヤルが繋がらなかった

【送信ページ】RALの添付文書

【評価】役に立った

【メッセージ】他のサイトには載って無いような事が書いてあり、良かった。

内容はそこまで難しくなく分かり易かったので更に良かった。

【送信ページ】HIVに感染すると…

【評価】役に立った

【メッセージ】大いに参考となりました。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】高校の保健体育の時間にエイズとその予防という単元があり、教科書だけではどうも生徒が理解できそうになく、疑問ばかりが残るように感じ困っていました。自分自身も生徒に嘘やでたらめを教えるわけにはいかず、自分自身が勉強しなくてはと思っていました。なかなかエイズに関する正しい知識や、しくみなどが分からず困っていましたが、このサイトで私自身の理解も大変深まり、生徒に分かりやすく大切な部分をピックアップして教えられそうに思います。

【送信ページ】HIVに感染すると…

【評価】役に立った

【メッセージ】ガイドライン27ページの8行目冒頭の

LRV/rtvとはLPV/rtvの誤りでしょうか？

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】CD4の図が書いてあり理解しやすかった。

【送信ページ】HIVの増え方

【評価】役に立った

【メッセージ】判り易く、大変良かった。

【送信ページ】インテグラーゼ阻害薬

【評価】役に立った

【メッセージ】病態と治療薬がイラスト付きでとてもわかりやすかった

【送信ページ】プロテアーゼ阻害薬

【評価】役に立った

【メッセージ】抗HIV薬の説明が非常に明瞭でわかりやすかったです。

つきましては、弊社社内報に限定して、こちらのインテグラーゼ阻害薬の説明イラストおよび説明文の掲載のご許可をいただけませんか。可・不可のご連絡をいただきたく、よろしくお願いたします。

【送信ページ】インテグラーゼ阻害薬

【評価】役に立たなかった

【メッセージ】今度はもう少し詳しくお願いします。

【送信ページ】HIVについて

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】抗HIV薬は略記号ではなく薬剤名で書いてほしい。どれがどれだかビギナーにはわかりにくく、インシデントをつくってしまう。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】学生がチーム医療を検討するための資料として教材になった

【送信ページ】チーム医療マニュアル

【評価】役に立たなかった

【メッセージ】もうちょっとからだのことについてかいた方が良いのではないのだろうか？

【送信ページ】病気から体を守る免疫

【評価】役に立った

【メッセージ】私は小学校の保健の本を忘れてしまったのでとてもこのページはやくにたちました。ありがとうございました。

【送信ページ】病気から体を守る免疫

【評価】役に立った

【メッセージ】院内の職業感染予防マニュアルのHIVの項を作成するに当たり参考にさせていただきました。ありがとうございました。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】助けて下さい。そしてお金ならいくらでも病院に寄付します。どうかHIVを退治する薬を作ってください。岐阜県高山市から

【送信ページ】抗HIV薬について

【評価】役に立った

【メッセージ】文章だけではなく、印象的なイラストもあり、とても理解しやすい内容でした。ご質問をしてもよろしいですか？

曝露医療従事者の対応について、抗HIV薬に関してなぜ2時間以内の内服が望まれるのですか？

【送信ページ】HIVに感染すると…

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】1月に講習を受けさせてもらいました。伝達講習の資料作成に使用しました。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】詳しすぎる

【送信ページ】HIVについて

【評価】役に立った

【メッセージ】イラストがわかりやすかった！！

【送信ページ】HIVについて

【評価】役に立たなかった

【メッセージ】もっと詳しく

【送信ページ】HIVに感染すると…

【評価】役に立った

【メッセージ】医師に勧められています。副作用が心配です。

【送信ページ】 EZC Q&A

【評価】役に立った

【メッセージ】とても参考になります。

【送信ページ】 カレトラ錠 Q&A

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】飲んだことを忘れてしまい、一晩に2度飲んでしまったかもしれないので、ネットで検索してこのページに来ました。過剰服用してしまった場合にどうなるのか知りたかったです。

【送信ページ】 Q&Aすべて

【評価】役に立った

【メッセージ】とても役にたった。このページがあったから・・・学校の宿題が早く終わった…。

【送信ページ】 HIVについて

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】イラストがとても役に立ちました。文も、大事な所は太くなっていて分かりやすかったです。でも、もう少し短くするともっと分かりやすくなると思います。

【送信ページ】 HIVの増え方

【評価】役に立った

【メッセージ】とても役に立ちました。でも、間違った知識もいれるともっとよくなると思います。また、その例もいれると・・・。

【送信ページ】 HIVについて

【評価】役に立った

【メッセージ】図もあってわかりやすいです。

【送信ページ】 HIVの増え方

【評価】無し

【メッセージ】事務局様

白阪先生には大変お世話になっております。

「平成22年度HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」報告書を1冊送付をお願いできますでしょうか？

NPOスマートらいふネット代表

【送信ページ】平成22年度研究報告書PDFダウンロードページ

【評価】役に立った

【メッセージ】説明が簡潔で分かりやすい。

【送信ページ】インテグラーゼ阻害薬

【評価】役に立った

【メッセージ】地方医療機関でHIV診療に従事しております。なかなか専門家に相談できないなかでこのような資料は助けになります。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】大変役に立つと思います。これから、勉強します。本当に、ありがとうございます。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った

【メッセージ】医薬品卸の管理薬剤師です。お得意先の診療所の看護師さんが針刺し事故を起こされ、マニュアル等の資料を希望された際、紹介させていただきました。ありがとうございました。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立たなかった

【メッセージ】wakariniukui

【送信ページ】治療法について

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】現在、ソフトカプセルはなく錠剤になっているので、情報の更新をお願いします。

【送信ページ】カレトラリキッドの患者向け説明文書

【評価】役に立った

【メッセージ】学校の保健のレポート作りはかなり活躍してくれました。ありがとうございます。

【送信ページ】HIVの増え方

【評価】役に立った

【メッセージ】これからの服薬指導に役立てます

【送信ページ】HIV診療における外来チーム医療マニュアル

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】もっとわかりやすくして

【送信ページ】HIVについて

【評価】役に立った

【メッセージ】院内感染対策マニュアル作成の参考にさせて頂いております。

【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った
 【メッセージ】院内用マニュアル「医療者用予防内服」を作成しています。可能であれば一部表などを使用(コピー)させていただけませんか。よろしくお願ひします。
 【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った
 【メッセージ】ほかの大抵のページでは、専門用語が多く、まだ発症したての私には理解できない個所だらけでしたが、こちらのページでは、本当に分かりやすく理解できました。ありがとうございました。
 【送信ページ】逆転写酵素阻害薬

【評価】役に立った
 【メッセージ】このようなQ&Aは特殊な薬を飲んでしていると命綱ようで、ホントありがたいです。助かります。
 【送信ページ】RALのQ&A

【評価】役に立った
 【メッセージ】正しい知識につながった
 【送信ページ】抗HIV治療ガイドライン

【評価】役に立った
 【メッセージ】良くわかりました(*・*)ありがとうございます。
 【送信ページ】HIVについて

【評価】役に立った
 【メッセージ】HIV患者で頭痛を訴えた際に、投薬に注意が必要であることがよくわかりました。
 【送信ページ】ATV患者向け説明文書

【評価】役に立った
 【メッセージ】わかりやすかった
 【送信ページ】HIVについて

【評価】役に立った
 【メッセージ】説明しにくい箇所までしっかりと説明していてとても勉強になった。専門家だけでなく学生や一般の方にも理解が容易だと思います。
 【送信ページ】プロテアーゼ阻害薬

【評価】役に立った
 【メッセージ】作文を書く上でとても役に立ちました！ありがとうございました
 【送信ページ】HIVについて

【評価】役に立った
 【メッセージ】レポートを書く時に文章、絵が解かりやすくまとめやすかったです。ありがとうございました。
 【送信ページ】抗HIV療法とその注意点

【評価】一部、役に立った
 【メッセージ】すでに内容を知っていた
 【送信ページ】Q&Aすべて

【評価】一部、役に立った
 【メッセージ】このページまではずっと読めていたのですが、RNA, DNA, 転写という言葉が出てきたあたりから、意味がよくわからなくなりました。
 【送信ページ】HIVの増え方

【評価】一部、役に立った
 【メッセージ】もっと詳しくしてほしい
 【送信ページ】HIVとAIDSは違う！

【評価】役に立った
 【メッセージ】こんな大変事が10数年かけて行われるなんて・・・
 【送信ページ】ウィルス量

【評価】一部、役に立った
 【メッセージ】ツルバダの併用注意薬にはレイアタッツがあがっているのに、レイアタッツの併用注意薬にはツルバダがあげられていない。どちらの記述が正しいのでしょうか？
 【送信ページ】ATVの薬カード

【評価】役に立った
 【メッセージ】役に立ちました。
 【送信ページ】HIV感染症って？-HIVについて

【評価】役に立った
 【メッセージ】とても怖い事を知って気をつけようと思いました！
 【送信ページ】HIV感染症って？-HIVについて

【評価】役に立たなかった
 【メッセージ】前に、開いたことがあるから
 【送信ページ】HIV感染症って？-HIVについて

【評価】一部、役に立った
 【メッセージ】HIVについての勉強に、役立ちました。

【送信ページ】 HIV感染症って？－HIVについて

【評価】役に立った

【メッセージ】 いい

【送信ページ】 HIV感染症って？－HIV感染症に感染すると

【評価】役に立った

【メッセージ】 非常に勉強になりました

【送信ページ】 カレトラリキッドの患者向説明文書

【評価】役に立った

【メッセージ】 よかったよかった

【送信ページ】 HIV感染症って？－病気から体を守る免疫

【評価】役に立った

【メッセージ】 理解しやすく、助かりました。

【送信ページ】 HIV感染症って？－HIVの増え方

【評価】役に立った

【メッセージ】 絶対飲み忘れのないように、気を付けてい
かないと

【送信ページ】 ABCの患者向説明文書

【評価】役に立たなかった

【メッセージ】 ださい

【送信ページ】 HIV感染症って？－病気から体を守る免疫

【評価】役に立った

【メッセージ】 感染成立時期が、わからなかったのが、役に
立ちました

【送信ページ】 HIV感染症って？－HIVの増え方

【評価】役に立った

【メッセージ】 役に立ったよ。ありがとう。(・<・) /

【送信ページ】 HIV感染症って？－HIV感染症に感染すると

【評価】役に立った

【メッセージ】 調べ学習の役に立ちました。

【送信ページ】 HIV感染症って？－病気から体を守る免疫

【評価】役に立った

【メッセージ】 危険なセックス＝HIVなんですね。お勉強
になりました。

【送信ページ】 NFVの患者向説明文書

【評価】役に立った

【メッセージ】 とても役に立ちましたが、薬の画像を出す

のはこの薬を飲んでる自分としては正直止めて頂きたい

【送信ページ】 カレトラのQ&A

【評価】役に立った

【メッセージ】 Logは一般的な表記ですか？

【送信ページ】 HIV感染症って？－ウィルス量

【評価】一部、役に立った

【メッセージ】 かゆみがあって顔や腕、その他に単体の蕁
麻疹か発疹がぼつりとよくできます。こういう場合、ジル
テックなどの蕁麻疹治療薬を飲んでもいいのでしょうか？

【評価】役に立った

【メッセージ】 ○○と申します。

エプジコムと併飲しています。私のこの症状はどうやらエ
プジコムからくるものではなさそうなのですが、どう
なのでしょうか・・・

(エプジコムの項目からもアンケートを匿名で遅らせて
いただきました。)

【送信ページ】 カレトラの薬カード

【評価】役に立った

【メッセージ】 ここでいう発疹というのはどのようなもの
なのか(全身にできる、単体であるいは数個かゆみを伴っ
てできる、あるいは全てを指す)もう少し具体的な説明が
欲しいです。というのも皮膚にかゆみを覚え、ぼつぼつと
した発を認めたので医師に連絡したところ、白血球の型が
「重大な副作用を引き起こす可能性の型ではないのでそ
のまま飲み続けてかまいません。」と言われ今もかゆみと
ところどころにできる発疹(市販のウナコーワで対処して
います)を認めつつ不安を感じながら飲見続けて約一ヶ月
がたとうとしています。

重大な副作用を起こす可能性のある白血球の型のない人
は心配ないというコメントを添付して欲しいです。

エタノールについても薬剤師に聞きましたが実際採決
をする際にも普通に使っているものなので、皮膚の消毒や、
洗顔剤や化粧品類に含まれていても問題なく使用してよ
いという回答を得ました。

もっと具体的な副作用の状態説明が欲しいです。

【送信ページ】 ABCのQ&A

(4) Webサイト全体に関連するアンケートの集計

2006年6月から2014年12月までのアンケート送信

数は96件であった。以下に年代別、性別、回答者の立場別、ホームページをどこで知ったか?、おくすりガイドの中で役に立った情報別に集計した表を示す。(表4~8)

表4 年代

年代	回答数
10代	3
20代	13
30代	31
40代	27
50代	14
60代以上	4
計	92

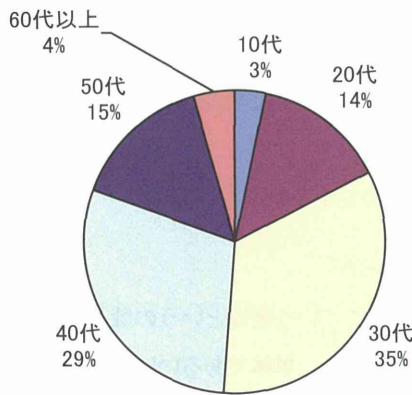


図5 年代別

表5 性別

性別	回答数
男性	72
女性	19
計	91

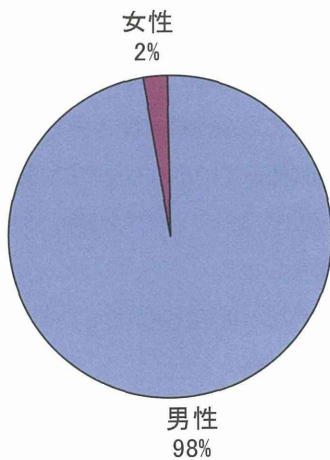


図6 性別

表6 アンケート回答者の立場

立場	回答数
患者	51
患者の家族・友人等	4
医療関係者	26
その他	11
計	92

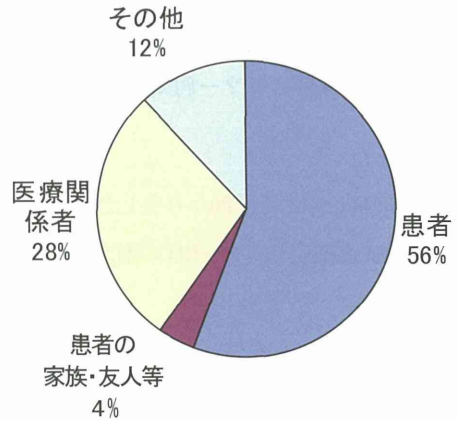


図7 立場

表7 このホームページをどこで知ったか

知ったきっかけ	回答数
検索エンジン	63
他のホームページからのリンク	18
友人・知人に教えてもらった	2
医療関係者に勧められた	9
その他	7
計	99

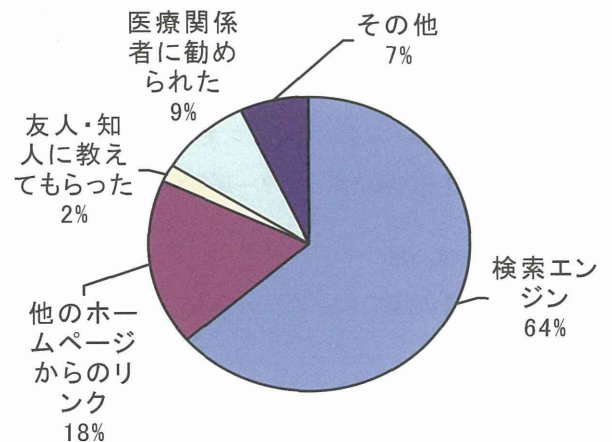


図8 このホームページをどこで知ったか

表8 おくすりガイドの中で役に立った情報（複数選択）

役に立った情報	回答数
薬カード	45
Q&A	44
患者向説明文書（翻訳）	32
添付文書情報	27
計	148

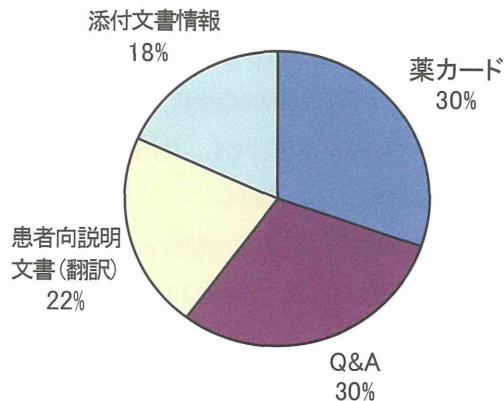


図9 おくすりガイドの中で役に立った情報

アンケートに記載されていた「欲しい情報」「ご意見、ご要望」は以下のとおりである。（かっこ）内は受信日。

【欲しい情報】

- ・ 他の病院にかかっているひとでもメールサービスを受けたい。（2006/06/14）
- ・ 新薬の情報 ex) ツルバダの情報等、既存の薬の配合薬であっても、その薬自体の情報等が知りたいので。（2006/06/22）
- ・ 飲み合わせについての情報があればいいのでは（実際のケースを挙げてというのは、難しいのでしょうか？）日和見感染などと抗HIV薬との関係など（抽象的ですが）（2006/06/29）
- ・ 食品との飲み合わせ（2006/08/05）
- ・ 新着情報・更新情報 新規のクスリの情報の反映が遅い（2007/01/24）
- ・ 薬剤変更した後の症状や副作用等の変化例。（2007/03/07）
- ・ 特に副作用に関してもっと詳しく知りたいです（2007/06/10）
- ・ 副作用の紹介は一応カバーできてるようですがそれらが出る原因と対処法について もう少し踏み込んで教

えて欲しい。基本的に異常を感じたら主治医に言いなさいと いうのは承知ですがその前に患者としても多例をみて主治医の考えを当てはめ、おかれている状況を心理的にも安心したいものです。飲まれている薬に限られている 以上、出てくる典型的な副作用と、職場、環境から受ける精神敵的なストレス（PTSDなど）との関係についてまでも具体的事例はかかなり情報としてあるはずで 個体によって多少の違いは出るにせよそう大きな差異はないように考えられます。最終的には医師と相談する材料になるような情報や具体的事例を紹介して（2007/07/11）

- ・ 薬剤情報の充実（相互作用、粉碎経管投与、写真・画像データ など）（2007/08/27）
- ・ 生活での注意点やヒント（例、食事と服薬の関係。それに伴う生活での注意点）等（2007/11/03）
- ・ 患者さんの生活が（投薬生活）見れるような情報等が欲しいです。薬の副作用を自分なりに工夫してるとか、こんなスポーツでカラダを鍛え免疫維持しているとか、ケミカル的な難しい情報も大切ですが、身近な生活情報があればためになります（2007/11/09）
- ・ 新薬情報（2008/02/28）
- ・ 各薬剤のメーカー名も一覧になっていると嬉しいです。開発の経緯や上市時期が時系列で並ぶものが欲しいです。（単なる興味です。）（2008/05/30）
- ・ 患者用の掲示板を設けてほしい。（2008/06/06）
- ・ 最新の治療方研究、開発の情報、治験情報などのアップデート。副作用関連の相談システム、もしくは解決のための手引き。（2008/10/21）
- ・ 拠点病院以外の病院や診療所における、HIVスクリーニング検査陽性者に対する対応マニュアルを希望します。結局は拠点病院を紹介することにはなりますが、最低限本人に説明すべき事項、また本人から聞いておくべきことは何でしょうか。健診施設勤務ですが、体調不良でHIV抗体（第Ⅲ世代）検査を行った結果、陽性と判明した患者がおりました。結果説明の難しさを痛感しました。（2008/12/09）
- ・ 日和見感染症に対する薬剤の説明が（副作用）ができれば欲しい（2009/01/06）
- ・ 併用してはいけない市販薬ですが、〇〇剤と言われてもピンと来ません。私は転勤先の初勤務の前日の夜に（恐らく飲みすぎによる）激しい嘔吐と下痢に襲われて、医師に相談する時間がなかったのでとにかくすぐ

に手に入る薬でしのぎました(3日経った今も続いています)。幸い、こちらのページで見たら使った風邪薬や下痢止め薬には併用禁止の成分は入っていませんでしたが、具体的に商品名が挙げられていると慌てて市販薬を買うときの助けになると思います。今回は胃腸薬を偶然使わなかったのがよかったのですが、今後急に飲まなくてはいけない状況がないこともないと思うのです。××は禁止、△△は要相談、□□は問題なし、のようにしてくれると本当にありがたいと思います。

(2009/01/06)

- ・ 最新抗HIV医薬品の情報や、研究動向。 耐性ウイルスに関する詳しい情報など。(2009/01/19)
- ・ 新薬の情報。周囲の患者に対するサポートなど(2009/01/31)
- ・ インタビューフォーム (2009/06/03)
- ・ アイセントレス錠400mgがない！ (2009/07/07)
- ・ 感染したと初めて知った人は相談する相手がなかなかいないと思う。いくら医療関係者が大丈夫と説いてもやはり患者の声にはかなわないのでは・・・外来で泣きながら座っている人を見ると辛い。そちらで通院している患者さんで、告知を受けた人に向けた一言メッセージなんかは病院のホームページに載せるのは難しいんでしょうか？ピアカウンセラーみたいにに濃厚になるのではなく、ただ一言自分も最初は不安だった。でも、生きていと伝えてほしい・・・(2009/12/19)
- ・ 緊急では無い(と思われる)気になることの相談みたいなこと。それをメールとかやりとりできたらいいかも・・・けど、結局は『病院に行ってください』とかになるのかな・・・(2010/05/03)
- ・ 現在、私は「プリジスタナイブ400mg」を服用していますが、ホームページの「患者向け医薬品ガイド」のPDFが開きませんでした。またこの分「薬カード」の更新もお願いできれば助かります。(2010/05/05)
- ・ 最新の研究過程/結果の情報 (2010/11/24)
- ・ 最新の薬情報(2011/03/25)
- ・ 病気の増え方(2011/6/24)
- ・ 間違った知識と正しい知識との…比較と、エイズに関わった人(マザー・テレサ)などの紹介。(2011/8/13)
- ・ やはり、いまだに感染すればすぐに死ぬというイメージが一般的である。

自分自身、その意識でHIV/AIDS治療の進歩も、病気の実態も調べることもしなかった。調べて現状を知り、

検査を受けようと決断した経緯もある。いまとなつては、早期に検査を受けておくべきだったと思う。

感染防止を啓蒙する方向性は、過去から活発だが、感染したらどうなるのかを周知しないと検査をうけることを阻害する意識は減らないと思う。

このホームページは、すべての情報が網羅されていて、本当に知りたいと思う人には非常にいいページだと感じる。しかし、見る人のレベル、状態、意識はバラバラであり、その視点も組み込むべきでは？

”(2011/8/24)

- ・ 日本人の副作用の症例(2011/10/24)
- ・ AIDSを発症した際の具体的な症状、治療法
 - ・ 「ウィルスの増殖を阻止しても、体内には数十年間ウィルスが潜伏する」仕組み
 - ・ 歴史的な側面 (特に治療法の遷移など)
 - ・ 投薬とCD4回復、ウィルス量減少の具体例(2012/01/12)
- ・ リアルタイムでのエイズの患者数。例えば2012年度の世界のエイズの患者の数。日本のエイズの患者の数。教科書は2008年とか古すぎるので。(2013/05/09)
- ・ 感染者の考えやどのように生活を送っているか(2013/07/17)

【ご意見、ご要望】

- ・ “忘れちゃだめー”を、他の病院、ひいては、HAART療法を行っている方々で、希望する人全員が使えるようにしてもらえると、QOLの向上にも繋がると思います。(2006/06/22)
- ・ お薬忘れちゃだメールの送信時間を1時間単位じゃなくできたらもう少し短い単位で設定できるようにして欲しい メールからのwebアクセスがメール到着後いつでもカウントできてしまうのを時間制限にして欲しい (2006/08/05)
- ・ 問い合わせ項目を作って欲しい (2007/01/24)
- ・ こちらの運動を率いる白坂先生の病院で命を助けていただき、おかげさまで元気に生きております。ほんとにほんとに感謝の気持ちでいっぱいです。自分が今までやってきた、性行動がこんな事態を招き、一生の病気を抱える事になりましたが、自分を見つめ直すチャンスだと気持ちをやっとな切り換えられるようになり、絶対に死ぬもんか!!と生きるチャンスの頂きましたし、

この病気の恐ろしさも自分自身で身に染みてますし、自分が変な言い方ですが、殺人兵器だと肝に命じております。自分も少なからず体感・体験してきたこの病気の事を何かの形で世にお知らせしていくことも自分ができることではないかと常々思っております。ほんとに先生方や看護師の方々、病院に携わって頂いている皆様、又僕の周りのみんなには感謝の気持ちでいっぱい、今はこんな事しか書けませんが、これから僕のカラダを助けて下さい。僕も頑張ります。先生方も頑張ってください。ありがとうございます。(2007/11/09)

- ・ 大変充実したサイトだと思います。色も美しく見やすいです。(2008/05/30)
- ・ 患者用の掲示板を設けてほしい。(2008/06/06)
- ・ 副作用を自覚した時の解決方法、医師とのインフォームドコンセントのなされかたに対する不安が大変大きな問題になってます。実際にLOQに大きく関わってきていますので、なんとかその解決のために力になって欲しいと切に願います。(2008/10/21)
- ・ この研究の服薬アドヒアランスの向上・維持に関する研究結果について興味があります。論文を送っていただきたいです(2008/10/21)
- ・ 大変勉強になります(2009/01/06)
- ・ 助かりました。ありがとうございます。(2009/01/06)
- ・ 今回、投薬を開始するにあたり薬の副作用を検索する際に、こちらに来ました。一般的な投薬のコンビネーションは病院から提示されているので、XとYの場合にはどういった副作用があるのかを見る必要があるのですが、今のような形式だとちょっと調べづらいかもしれません。薬によっては副作用の内容は類似しているので、単体の薬の見方は十分な情報だと思います。ありがとうございます。(2009/01/19)
- ・ 最近投薬を開始したものです。投薬開始の前日にこのHPを知りました。これを見て、いろんな不安が解消されたように感じます。副作用については、人それぞれで難しいでしょうが、投薬前の人の不安を和らげるようなページがあっても良いと思いました。
(2009/01/28)
- ・ 非常に良く出来ていると思います。これからもより一層の充実を期待します。(2009/01/31)
- ・ 特にありません。現状、知りたかったことが十分に記載されていました。(2009/05/06)
- ・ 忘れちゃダメダメールを送ってほしい(2009/06/03)

- ・ 毎日、新規の患者さんで忙しいようですが皆さん頑張ってください。あと、外来に椅子が少ないようですが、どうにかなりませんかね・・・体がしんどいので、座って待ってもらえたらいいですね。健康な私がしんどいから患者(服薬前の)さんはさぞかししんどいでは・・・あ、ホームページとは何の関係もなかった。

(2009/12/19)

- ・ 私は、発症1ヵ月経ったところで、まだあまり知識のない状態なのですが、こちらのページは、とても分かりやすい説明なので、本当によく理解できました。是非ともまた活用させていただきます。ありがとうございます。(2010/05/05)
- ・ とても親切で非常に参考になりました。(2010/11/24)
- ・ 更新年月日の記載が欲しい。(2011/03/25)
- ・ 非常に分かりやすい。逆転写酵素とインテグラーゼの役割の違いが理解できました。要望はCXCR4とCCR5の生理的役割、正常時の役割を教えてくださいたいです。(2011/04/01)
- ・ ありがとう(2011/06/24)
- ・ 最新情報、特に日本人感染者の副作用の状態を記載してほしい。(2011/06/26)
- ・ 医療従事者のHIV暴露に関する質問です。抗HIV治療ガイドラインによりますと、暴露由来患者のHIVに関する情報が不明な場合、患者さまのHIVスクリーニング検査を施行することになっていて、迅速検査が可能であれば施行、とあります。迅速検査を行った場合、通常のスクリーニングは不要でしょうか。行う場合には、ウィンドー期を考慮して時期をずらすなどの配慮が必要でしょうか。ご教示ください。国際医療福祉大学病院 呼吸器外科(2011/08/03)
- ・ とても分かりやすくなっていた。絵も入っていて役にたった。(2011/08/13)
- ・ 例えば「プロテアーゼ阻害剤」と言われても、プロテアーゼが何をしている物が解らないと、ちょっと不安だったりもするし、ウィルスがCD4内でどのように増えるのかを知りたかったのですが、妙に専門的かということ簡略化した説明しか見つからず、それでもしつこく検索するうちたどり着きました。
このサイトでは、薬の情報とか最新版のガイドラインなど、今までバラバラに集めていた情報がまとまっていて助かります。
特に投薬開始以降は、ウィルスが減ってCD4が回復し